



馬の学校

馬の学校通信

2010. 6 vol.38

発行 馬の学校

事務局 〒409-0115 山梨県上野原市松留 645 ハイム上野原 206 TEL/FAX:0554-63-5534

E-mail : mine@horseschol.org ホームページ : http://www.horseschool.org



夏のプログラム 参加者募集！！

ウマキャンプ (3泊4日)

日程：8月17日(火)～8月20日(金) 山梨・小須田牧場

対象：小学4年生～高校3年生 (定員 6名)

参加費：¥41,000 (現地集合・解散)

*大阪集合解散の場合、小学生 ¥50,000 中学生以上 ¥55,000

★お申し込みは、会員の皆さまは6月26日(土)から、一般の方は6月28日(月)から、電話・メール・FAX(0554-63-5534)で事務局まで。(留守電になっていることが多いですが、その場合はメッセージを残していただければ、こちらからご連絡させていただきます)

春のプログラム 活動報告

馬とのふれあいプログラム

(3/6・4/25・5/22・6/12)



みんなでブラシがけをしました



ドキドキわくわくの乗馬です



1人で角さんを連れて帰りました



「ありがとう！」(角さん)

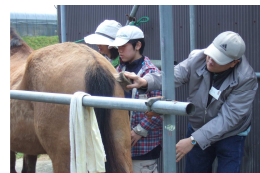


かっこいいでしょう？



そうじもがんばりました

ファミリープログラム (4/24)



たくさん毛が抜けました



協力してエサづくり



1人で馬を動かしました！



お父さんと一緒に

第2回 ハケ岳ホース・エキスポ in こぶちさわ

開催日：2010年7月3日(土)・4日(日) AM 9:30 開演

開催場所：バッファロー砦 (山梨県北杜市小淵沢町)

参加料：1日券 前売り 10,000円 (弁当・お茶付)

当日 12,000円 (弁当なし)

内容：人と馬の動く解剖学 (Anatomy in motion)

①The visible Horse

(骨から筋肉から考える馬のメカニズム)

②The visible Rider

(骨格から見る理想の乗馬スタイル)

申し込み・問い合わせ

：ハケ岳ホース・エキスポ in こぶちさわ実行委員会

大泉高原乗馬牧場フリースペース内

TEL/FAX：0551-38-0829

昨年、編集後記で紹介した講習会が今年も

開催されます。興味のある方はぜひ！



2009 年度会計報告

収入	(円)
2008年度繰り越し	89,411
年会費・賛助会費	63,000
プログラム収入他	489,000
合計	737,411
支出	(円)
通信費	82,220
消耗品費	18,953
プログラム費	558,090
合計	666,413

おすすめの本

『治りませんように』

齊藤道雄 著 みすず書房

北海道浦河にある、精神障害やアルコール依存を抱える人たちが暮らす「べてるの家」を舞台にしたノンフィクション。「人」として本当に大切なものは何なのか、を問われる本です。治ることにしがみつくなではなく、ありのままの自分を受け入れ、和解決すること。子どもにも馬にも関係ない、と思われるかもしれませんが、大切なことは根っここの部分でつながっているのではないかと感じました。



乗馬の世界カップ

4年に一度のサッカーの世界カップで沸き立っていますが、実は乗馬の世界にも4年に一度、世界カップがあるのです。それが「世界馬術選手権大会 (FEI World Equestrian Games)」です。最近では2002年にスペイン、2006年にドイツで開かれたこの大会、今年アメリカの「ケンタッキーホースパーク」で9月25日～10



2006ドイツ大会

月10日まで開催されます。いままでご紹介した「馬場馬術」「総合馬術」「障碍馬術」「レイニング」だけでなく「馬車」「軽乗」「エンデュランス」そして「障害を持つ方の馬場馬術」の競技があります。乗馬の世界ではオリンピックより権威があるとされる世界カップ、ここに照準を合わせてくる選手と馬がたくさんいるのです。花形の「馬場馬術」では、オリンピックチャンピオンでもあるオランダのアンキー選手（女性）とサリネロ号のコンビがドイツで優勝しましたが、今回はもしかしたら番狂わせがあるかもしれません…。日本人選手の出場も続々と決まっている今大会、開催後にはDVDで見ることもできるので、世界の技をぜひご覧ください。大会 URL [/www.alltechfeigames.com/](http://www.alltechfeigames.com/) (幸田郁代)

編集後記

今年は梅雨入りが遅く、入ったかと思えば雨が降らなかったりと、天候不順が続いています。

先日、久しぶりに1人で小須田牧場に行って来ました。いつもは子どもや学生と一緒に「先生」になってしまいますが、1人で行くと、何の肩書きもない「素」の自分になります。大学生の時、「1頭の馬とじっくりかかわってみた」といって担当させてもらったローラも今年で20歳。心地よい風が吹く中、牧場の外周をのんびり歩いていると、当時のことが体を通して蘇ってくるようでした。やりたいことが見えずに悩んでいたとき、弱くてちっぽけな「自分」を受け入れてもらったことで、次に進む勇気が与えられました。20年近く経っても安心して帰ることができる場があることは、とても恵まれているのだと思います。子どもたちが大きくなって、ちょっと疲れたなと思ったときに、「そうだ、馬に会いに行こう！」と思い出してもらえるような、そんなかわりの場を作っていきたいなと思いました。(峯崎 友香理)